



# 2月 釜小だより

横浜市立釜利谷小学校

釜小Web <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariya/>



## けいぞく ちから 継続は力なり

副校長 鈴木 勝之

国内での新型コロナウイルス感染が確認されて一年が経ちました。未だ収束の兆しが見えない中、保護者の皆様の心配も尽きないことと思いますが、釜利谷小学校でも感染防止対策をとりつつ、教育活動を進めてまいりますので、ご理解ご協力の程よろしく願いたします。

そんなコロナ禍で迎えた新年、校内に掲示している子どもたちの今年一年の目標を見ていて浮かんだ言葉があります。タイトルにもある「継続は力なり」です。多くの人が一度は耳にしたことのある言葉ではないでしょうか。宗教家住岡夜晃さんの言葉だそうです。物事を成し遂げるために大事な事として語り継がれている言葉で、今の時代も変わらず注目されている価値ある考えです。私自身も昨年一年間で、経験的にその価値を実感しました。それをより確かなものにし、結果に結びつくように取り組むために、私なりに考えた大切なことが三つあります。

一つめは、継続させるための持続可能な方法を見つけることです。最近では「Sustainable(サステナブル)」という言葉も一般的になってきました。持続可能かどうかは物事の成否の鍵を握っていると言っても過言ではありません。また、持続できる方法かどうかを左右するのは、その方法が自分に合っているかどうかです。まずは、自分に合った持続可能な方法を見つけることが大切だと考えます。せっかく、よい目標を立てても、三日坊主となってしまったらもったいないので、流行や話題性だけに流されず、自分に合った方法を見つけて取り組んでほしいと思います。

二つめは、自分を知ることです。メタ認知という言葉があります。自分自身を客観視することです。好きなこと嫌いなこと、得意なこと苦手なこと、夢中になれることやがんばったこと、これまでに成長できたことやいつも気になっていること等々、自身に関する様々な情報を自分ですっきりととらえる。一つめの自分に合った持続可能な方法を見つけることも、自分のことをよく知らなければできないことなので、これも大切なことと考えます。

三つめは、強くはっきりと目的意識をもつことです。継続することは、とても価値あることです。あくまでも手段です。手段は、何かを成し遂げたいという目的があってはじめて意味を成します。継続させることのみに重きを置かず、成し遂げたいことや辿り着きたいこと、またはそれを実現した自分の姿を常に思い浮かべながら、楽しく取り組んでほしいです。しかし、続けることそのものも楽しめたら、それも力につながります。習慣化です。これができれば、さらに目的達成に近づくこと間違いなしです。

子どもたちには少し難しい話かもしれませんが、今年、何か継続させることを目標に掲げているとしたら、三つの大切なことも参考にして取り組んでほしいです。そして、取り組みを継続し、成し遂げたいことを実現させ、皆で「継続は力なり」を実感しましょう。